

# 公立大学協会

公立大学協会ニューズレター Vol.3/No.4

2009年5月13日発行 (通刊第15号)

【発行責任者】佐々木 雄太 (公立大学協会会長/愛知県立大学長)

【編集責任者】中田 晃 (公立大学協会事務局長)

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-13 虎ノ門吉荒ビル9F

TEL(03)3501-3336 FAX(03)3501-3337

E-mail: jimmu@kodaikyo.jp URL: http://www.kodaikyo.org/



## 二年間の会長任期を終えて

会長 佐々木 雄太(愛知県立大学長)

2年前、次期会長の選任をめぐっていささか不穏な動きもある中で、はからずも会長職を受けることになりました。

このような経緯から、私たち役員に課せられた第一の課題は、会則をはじめ明示的なルールに基づき、理事会での十分な審議を軸にした組織的な協会運営、および全会員への徹底した情報提供に基づく透明な協会運営であると自覚しました。

不備な点が多かった現行会則の改正は、地区協議会における意見聴取も含めて、数回の理事会で慎重に審議を重ねた結果、昨秋の臨時総会において、ほぼ全会一致でご承認いただきました。今春には、新たに定められた規程に基づき、協会発足以来初めて、全会員の投票によって次期会長候補者が選出されました。

この2年間の理事会は、ほとんど全理事の出席のもとで開かれました。何よりも心強いことでした。副会長、理事、監事、顧問、相談役のご協力と、事務局の奮闘のお陰で任期を全うすることができました。心から感謝いたします。

会則と並んで主要な規程の整備もなされました。協会の法人化という懸案は残されましたが、公大協の諸活動のルールあるいは軌道は整ったと考えます。今後は、活動内容の充実こそが課題となります。

高等教育政策はめまぐるしく動きました。中教審答申「我が国の高等教

育の将来像」は、大学はそれぞれの判断に基づいて7つの機能に「緩やかに機能別に分化していく」と述べました。この「機能別分化」と大学の差異化が、政策的に進められつつあることに懸念を覚えます。また、答申「学士課程教育の構築に向けて」は、大学設置等に関する「規制緩和」路線を大きく転換して、「多様性と標準性の調和」をうたいました。教育の「質の保証」の必要性は理解できるものの、「標準性」の追及が過度な規制となり、大学の個性喪失につながる恐れなしとしません。

「学士課程教育」答申の後に、「制度論」を含めた提言を求めるとした文部

科学大臣の新たな諮問にかかわる論議の行方に留意する必要があります。「戦略的・大学間連携」のあり方や道州制と公立大学の将来像など、豊かな構想力を発揮して対処しなければならない課題がひしめいています。

公大協は会員大学の多様性に特徴があります。一つ一つの大学は小さくても、それぞれが地域にしっかり根差しているところに強みがあります。

公大協は今年創立60周年を迎えます。元気な公立大学がひとつになって、高等教育におけるその存在意義をしっかりと主張する良い機会だと思います。

### 大学振興課公立大学担当の異動(4月1日付)

大学振興課に異動がありましたので一言コメントをいただきました。( )内前職)

○高見功課長補佐(併)公立大学専門官[大学設置室長補佐](写真中央)

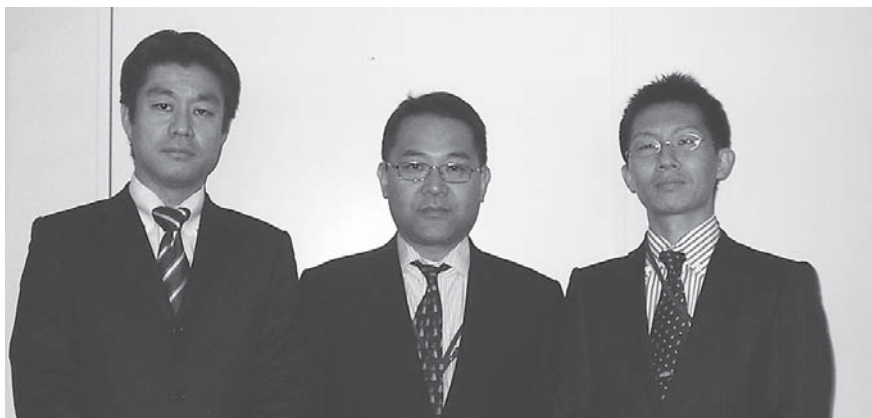
「大学設置室からの異動です。お役に立てることがございましたら、いつでもご連絡ください。」

○福島哉史短期大学係長(併)公立大学係長[短期大学係長](写真右)

「ご意見、ご相談をお待ちしています。」

○佐藤邦明専門職(秋田県東京事務所主任)(写真左)

「公立大学の振興のお役に立てるよう頑張ります。」



# 平成20年度の委員会活動等による報告書・レポート

平成20年度の委員会のもとに設置された作業部会等によりまとめられた3つの報告書・レポートが、第5回理事会に提出されました。検討の経過と報告の概要は以下のとおりです。

## 「道州制と公立大学に関する基礎的研究—九州・沖縄地区をモデルとして—」

### 道州制と公立大学に関する基礎的研究プロジェクトチーム

政策委員会(矢田俊文委員長)から九州・沖縄地区協議会に委託された「道州制と公立大学に関する基礎的研究」が報告書にまとめられた。

これは、第28次地方制度調査会「道州制のあり方に関する答申」(H18.2.28)や道州制ビジョン懇談会の設置(H19.1.26)等の政府の動向をはじめ、各地域や経済界等において道州制に関する議論・研究が活発化していることを受け、九州・沖縄地区をモデルとして道州制における公立大学に関して考察したものである。

平成20年2月1日のキックオフミーティングを皮切りに、政策委員会や地区協議会での経過報告、意見交換を挟みつつ、平成20年3月から10月にかけて計4回のプロジェクト会議が開催された。

基礎的研究という性格から、意見や見解の形成を目的とせず、①これまでの道州制論の経緯と整理、②設立時期や規模等の多様な九州・沖縄地

区の11公立大学の基礎的資料の収集・分析、③公立大学が州立に移行した場合、あるいは国立大学が道州へ移管した場合の移管・再編・統合のパターンの考察を軸にまとめられた。

#### 【目次構成】

- I 道州制を巡る様々な議論と高等教育
  1. 道州制構想とは
  2. 古くて新しい道州制論議
    - (1) 律令制と五畿七道
    - (2) 大正デモクラシーの時代の道州制構想
    - (3) 戦前、戦中の広域行政体制
    - (4) 新しい地方自治制度の下での道州制構想
    - (5) 高度経済成長下での都道府県合併論
  2. 平成の道州制論議のスタート
    - (1) 小泉内閣における道州制論議
    - (2) 第28次地方制度調査会の「道州制のあり方に関する答申」
    - (3) 安倍内閣における道州制担当大臣と道州制ビジョン懇談会の設置
  4. 道州制構想と九州
    - (1) 「九州自治州」構想
    - (2) 平松前大分県知事の「九州府」構想
    - (3) 九州経済界の取り組みと九州地域戦略会議道州制検討委員会
  5. 道州制構想と大学
  6. 道州制導入への課題
- II 九州・沖縄の公立大学の現状
  1. 九州・沖縄の公立大学の概要

- (1) 各大学の沿革、学生規模
- (2) 各大学の学部学科編成の特徴について
2. 九州・沖縄の公立大学と地域の人材育成と供給
  - (1) 九州・沖縄の公立大学における入学者の状況
  - (2) 九州・沖縄の公立大学における卒業生の状況

#### III 道州制にともなう公立・国立大学の設置パターン

1. 「道州制の九州モデル」の答申
2. 県立(公立)大学のみで州立大学への移行の場合
  - (1) 現状のままでの州立大学への移行
  - (2) 州立大学同士間の再編・統合
3. 国立大学が州立大学へ移管した場合
  - (1) 現状のままで州立大学へ移管の場合
  - (2) 再編・統合の場合
4. 今後の課題

#### IV 活動経緯及び委員名簿



熊本県立大学でのキックオフミーティング(H20.2.1)

## 公立大学 News Watch⑧

○「県立広島大 不況対策学内バイトで年間授業料」(09年1月27日・読売新聞、2月9日・朝日新聞ほか)

県立広島大学では、経済及び雇用情勢の悪化によって修学が困難となった学生への支援策として、インターンシップ型学内アルバイトの提供を始めることとなった。

年額授業料をまかなうことも可能な制度設計とし、平成21年度新入生を対象に10名程度の利用を見込む。業務を通じた学士力向上や就業意識の醸成にも留意した内容とする予定。

\* \* \*

○「三つの府立施設が連携し、北山文化ゾーン形成」(09年3月27日・京都新聞ほか)

京都府立大学と京都府立植物園、京都府立総合資料館の府立3機関の間で、連携に関する包括協定が締結された(3/27 調印)。

隣接した立地を生かし、所蔵する植物標本や古文書等の共同研究のほか、府大の学生・教職員の両施設の利用を推進するなど、相互の交流と資源の活用を通じて、京都の文化・環境・学術の拠点である北山地域の発信力向上に取り組む。

\* \* \*

○「連携協定：名古屋、大阪、横浜の市立大が締結」(09年3月25日・毎日新聞ほか)

「大都市制度構想研究会」の設置をはじめ、共同の取り組みを進める横浜市、大阪市、名古屋市の3市連携事業の一環として、市立の3大学間で包括連携協定が締結されることとなった(3/26 調印)。

大都市制度に関する共同研究の実施をはじめ、単位互換や遠隔授業の検討、人材交流やFD・SDの合同実施、附属病院の運営管理に関する情報交換などが予定されている。

## 「学士課程教育の改革と公立大学」

### 教学委員会 学士課程教育作業部会

中央教育審議会の答申「学士課程教育の構築に向けて」(H20.12)、新たな質保証システムの形成を視野に入れた諮問「中長期的な大学教育の在り方について」(H20.9)など、昨今の高等教育政策は、各々の大学に「教育力」向上に関する一層の取組みを求めるものとなっている。

これらの動きに対応し、教学委員会(今井浩三委員長)では、公立大学のFD担当者間の事例・情報交流の機会として、平成20年度に3回のFDミニセミナーを開催した。同時に、学士課程教育作業部会(主査:中島恭一相談役)を設置しセミナーの成果を検証し、公立大学共通の課題について検討を行ってきた。

今回の報告書は、教学委員会の委員の大学を中心に各公立大学で教育改革の担い手となっている8名の専門委員によってまとめられたもので、

各々の大学の事例のほか、FDミニセミナー及び教学委員会(拡大委員会)で発表された特色ある事例等が収録されている。各公立大学において取組みを進めていく際の参考として、活用できるものとなっている。

#### 【目次構成】

- 第1章 中教審答申「学士課程教育の構築へ向けて」と公立大学の対応
  - 1 学士課程教育の国際的通用性をめぐって
  - 2 医学教育におけるモデル・コア・カリキュラムの現状と課題を中心にして
  - 3 転換期を迎える入学者受入れと高大接続
  - 4 審議過程での公立大学協会からの意見
    - 4-1 「学士課程教育の構築へ向けて(審議のまとめ)」についての意見…中教審ヒアリングでの意見陳述(2008年5月9日)
    - 4-2 大学教育に関する中教審答申案と新たな諮問について
- 第2章 公立大学の教育力向上の取組…FDの実質化へ向けて
  - 1 大学の教育力向上に役立つFDのあり方…FDの概念・定義をめぐって
  - 2 授業アンケート活用の現状と課題
  - 3 教員と職員の協働関係の確立へ向けて

- 4 公立大学の取組事例と提言…FDミニセミナーを終えて
  - 4-1 学習環境のデザイン
  - 4-2 小規模単科大学の事例と課題
  - 4-3 公立大学における大学教育に関する組織の活動と課題

- 第3章 国際的通用性のある大学教育をめざして
  - 問題提起・事例発表Ⅰ「中長期的な大学教育の在り方について」
  - 問題提起・事例発表Ⅱ「国際教養大学の教育システムーコアカリキュラム、英語による授業の実施ー」

(附)平成20年度FDミニセミナーの記録



第1回学士課程教育作業部会 (H20.11.20 / 公立大学協会会議室)

## 「公立大学経営レポート」

### 公立大学法人作業部会

経営委員会の公立大学法人作業部会(赤岡功主査)は、公立大学の経営課題や各種資料をまとめた「公立大学経営レポート」を作成した。

大学の多様化と政府の関与の縮減傾向の中で、大学に関する調査・研究機関の役割が重要となっている。しかし公立大学には、国立大学における国立大学財務・経営センター、私立大学における私学経営情報センター(日本私立学校振興・共済事業団)のような、セクターに応じた政策・経営の研究を行う機関が存在しない。それゆえ公立大学に関する様々な基礎的な資料は、公立大学協会が公立大学実態調査等を実施することによって収集してきたが、今回それらの基礎資料をわかりやすい資料集として試行的にまとめることとした。

このレポートは、①公立大学の経営課題の論点整理、②公立大学実態

調査等をもとにした図表による公立大学のデータ集、③関連資料の3部から構成されている。

今回は試作版となるが、今後、各公立大学からの意見・要望を反映させ、公立大学共通の経営資料として順次充実させていく予定である。

#### 【目次構成】

- 第1部 公立大学の経営課題
  - 1 公立大学の経営にかかわる政策動向
    - (1)「中長期的な大学教育の在り方について」(諮問)
    - (2)「学士課程教育の構築に向けて」(答申)
    - (3)設置自治体が策定する「教育振興基本計画」
    - (4)教育再生懇談会 第3次答申
    - (5)共同学部・共同研究科制度(大学設置基準等の一部改正)
    - (6)地域力創造/定住自立圏構想(総務省)
    - (7)地方再生戦略/地域活性化・生活対策臨時交付金(内閣府)
    - (8)「ふるさと雇用再生特別交付金」「緊急雇用創出事業」
  - 2 公立大学の経営に関する諸課題
    - (1)公立大学に対する地方交付税措置
    - (2)公立大学の財源(運営費交付金)

- (3)施設設備の更新に関する課題
- (4)国立大学法人法との制度上の相違について
- (5)公立大学法人の財務・会計の課題
- (6)公立大学法人の評価の課題
- (7)公立大学教職員の人事の課題
- (8)教員・職員の能力開発の課題
- (9)公立大学の可視化に関する課題

第2部 データでみる公立大学の姿

第3部 参考資料

- ◎ 公立大学の設置状況等について
- ◎ 公立大学の特徴を示す様々な評価・指標等
- ◎ 公立大学に関わる諸制度
- ◎ 公立大学の財政データ一覧
- ◎ 公立大学協会活動および照会結果
- ◎ 関係法令・審議会動向



第3回公立大学法人作業部会 (H21.1.26 / 県立広島大学)

## 次期会長の選考を実施

初の投票方式での選出

平成20年11月4日に開催された臨時総会(学長会議に併催)の際に承認された新たな「公立大学協会会則」及び「役員選任手続等に関する規程」に基づき、新会長の選考が行われた。

はじめに、会長及び各地区協議会から選出された選考委員によって構成される会長候補者選考委員会が平成21年1月16日に開催され、3名の会長候補者を選考した。

続いて、その結果が各学長に提示され、郵便投票に付された。

投票は2月12日午前10時をもって締め切れ、同日午前11時30分から開票が実施された(写真)。その結果、矢田俊文北九州市立大学学長が最高得票者(34票)となった。

今後は、5月25日の総会において選考委員会から最高得票者が会長候補者として提案され、選出の運びとなる。



## SD研修企画作業部会

平成21年4月20日(月) 協会会議室

平成20年度経営委員会のもとで設置されたSD研修企画作業部会の第1回会合が開催された。

各公立大学でFD・SDを担っている教員・職員を専門委員に迎え、教員も対象とした広い意味でのSD研修のあり方について、公立大学の特性を踏まえた議論が行われるとともに、今年度のセミナーの企画についての具体的な議論が行われた。

## 入試共同広報の取組み

今年度も協会ブースを出展

昨年度に引き続き、大学新聞社主催の大学入試・入学説明会への公立大学協会ブースの出展を実施し、さいたま、東京(新宿)、横浜の3会場において、資料配布及び来場者への入試相談を行った。

事業者との協力により、来場者向けガイドブックには全国の公立大学の情報が特集され、受験生の関心を集めていた。

### 平成21年度のスケジュールについて

現在日程の決定している会議、セミナー等は以下の通りです。

\* \* \*

#### 平成21年度総会

- 平成21年5月25日(月)  
学士会館(東京都千代田区)
- 次第(予定)  
会長挨拶  
来賓挨拶  
文部科学省講演  
新学長、事務局長等の紹介

#### 【審議事項】

- ①新会員入会及び加盟変更について
- ②平成20年度公立大学協会事業報告及び決算について

- ③平成21・22年度公立大学協会役員の選任について
- ④平成21年度事業計画及び収支予算について

#### 公立大学協会 SD セミナー(予定)

- 平成21年7月23、24日(木、金)  
メルパルク東京(港区)
  - 平成21年7月29、30日(水、木)  
大阪府立大学・中之島サテライトキャンパス(大阪市北区)
- ※日程、プログラム、講師等の詳細については、決定次第ご案内いたします。

## 公立大学協会の主な活動の記録 (2009.1.1 ~ 2009.3.31)

### 1月

**8日(木)★**生涯学習局社会教育課 手塚健郎課長補佐、荒木正寛指導研修係長来局、「学芸員養成の充実策について」及び「司書資格取得のために大学において履修すべき図書館に関する科目の在り方について」の経過説明。

**9日(金)★**大学の設置等の認可の申請・届出に係る手続等に関する規則の一部を改正する省令案に対する意見を大学振興課大学設置室に提出。

**13日(火)★**大阪府立大学 切畑光統特命副学長、浅野幸治理事長補佐来局、戦略的連携支援事業について。

**16日(金)★**会長候補者選考委員会(協会会議室)。

**19日(月)★**初等中等教育局教育課程課 神山弘専門官来局、高等学校学習指導要領改訂について。  
★教学委員会 第2回学士課程教育作業部会(協会会議室)。

**23日(金)★**「卒後臨床研修制度アンケート」に対する公立大学協会医科歯科部会としてのまとめ」を厚生労働省医政局医事課に提出。

**26日(月)★**経営委員会 第3回公立大学法人作業部

会(県立広島大学)。

**28日(水)★**大学職員サポートセンター 小日向允理 専任局長来局、大学職員の研修等について。

**30日(金)★**日本学生支援機構 富田靖博奨学事業部長来局、「奨学事業の現状について」。

### 2月

**3日(火)★**平成20年度第3回 UMAP(アジア太平洋大学交流機構) 日本国内委員会(学術総合センター)。  
★第4回公立大学協会会則及び諸規程の整備に関する作業部会(協会会議室)。

**9日(月)★**高等教育局医学教育課 樋口聰課長補佐来局、医学教育カリキュラムの見直しについて。

**12日(木)★**会長候補者に対する郵便投票の開票(協会会議室)。  
★第3回運営会議。

**16日(月)★**大学振興課 平野誠課長補佐来局、「ふるさと雇用再生特別交付金」・「緊急雇用創出事業」を活用した大学の教育機能の充実について。

**20日(金)★**第4回経営委員会(協会会議室)。

**27日(金)★**第4回政策委員会(協会会議室)。

### 3月

**5-6日(木・金)★**UMAP 国際理事会(リーガロイヤ

ルホテル広島)。

**11日(水)★**第4回教学委員会(協会会議室)。

**12日(木)★**第4回就職問題懇談会(文部科学省)。

**13日(金)★**高等教育局医学教育課 小山田恭子看護教育専門官ほか来局、「看護の質の向上と確保に関するプロジェクトチーム」について。

**16日(月)★**第5回公立大学協会会則及び諸規程の整備に関する作業部会(協会会議室)。

**25日(水)★**新潟県・県立大学設立準備室 深見和之室長来局、新潟県立大学開学記念式典について。

**27日(金)★**第1回創立60周年記念事業委員会(協会会議室)。  
★第5回理事会(協会会議室)。

※役職名及び組織名は全て日付当時

#### 事務局より .....

今回は、大学振興課の公立大学担当をご紹介します。各担当官ともに公立大学の立場に立って仕事をされていますので、遠慮なく相談等いただけます。また、文部科学省にご用事の際は、14階のデスクをお訪ねになり、公立大学の生の情報をお伝えください。